硬貨 A と硬貨 B を、それぞれ続けて 8 回投げる。どちらの硬貨も、1 回の硬貨投
げで、表の出る確率は $\frac{1}{2}$ であり、裏の出る確率は $\frac{1}{2}$ であるとする。A の硬貨を
8 回投げて表が出る回数と、B の硬貨を 8 回投げて表が出る回数の差が、7 以上
となる確率は $\frac{[\quad]}{2^{15}}$ である。 ['09 関西大]